

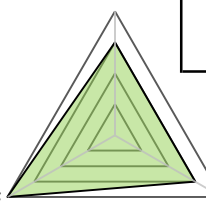

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 06農水産業費

項 01農業費

目 02農業振興費

事務事業番号 06010201

事業名		苫小牧市鳥獣被害防止対策協議会補助		担当部署	産業経済部 農業水産振興課			
根拠法令								
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価		総合評価	
	予算・決算額(A)	6,006	4,786	6,006				
	(A)の内訳	国道支出金						
		地方債						
		その他						
		一般財源	6,006	4,786				6,006
	人件費(B)	2,521	2,521	2,521				
事業費計(A+B)	8,527	7,307	8,527					
事業の目的		野生鳥獣による農作物被害が深刻化しているなか、鳥獣被害防止特措法が平成20年に施行され、本法に基づく被害防止計画の作成を推進するとともに被害防止計画に基づく取組に対して国（道）から支援を受け、野生鳥獣による農作物等に対する被害を軽減し、農水産業の発展に寄与することを本事業の目的としています。						
事業の内容 SDGs17の目標		 <p>苫小牧市鳥獣被害防止対策協議会が実施する鳥獣の被害防止のための取組を総合的に支援し、具体的には最も農作物への被害を与えているエゾシカ被害防止対策に重点を置き、捕獲器材の導入や苫小牧市鳥獣被害対策実施隊による捕獲鳥獣の解体処理作業に関する費用等の補助や、鳥獣被害防止施設の購入を行い、農作物被害の軽減を目的に事業を実施しました。また、近年交通事故や市街地への出没等も増えており、生活環境被害の軽減も目指しました。</p>						
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度		
		くくりわなによるエゾシカ捕獲	頭	515	608	509		
項目評価		高 → 低		評価の理由				
		4	3	2	1			
有効性			●			事業の実施により農業被害に対し、一定の抑制が図られたため「3」としました。		
効率性				●		農業被害を中心とした捕獲活動と並行して、生活環境被害における捕獲活動を実施したことで、作業効率の向上がおおむね図られたため「3」としました。		
公平性		●				農業地区である植苗・美沢地区と樽前地区それぞれにおいて、取り組んだことから、「4」としました。		
事業の課題 今後の方向性		事業実施により農業被害の抑制が図られたことから、一定の成果があると考えております。年々エゾシカの出没頭数が増えていることもあり、捕獲の効率化に向けた検討をしつつ捕獲活動を行うとともに鳥獣被害防止施設の整備を進め、被害防止に努めます。					事業終了の 予定の有無	
							無	
特記事項								

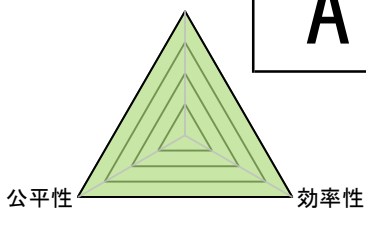

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 06農水産業費

項 01農業費

目 02農業振興費

事務事業番号 06010202

事業名		経営所得安定対策等推進事業			担当部署	産業経済部 農業水産振興課		
根拠法令								
予算・決算 (千円)	区分		R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価 有効性  公平性 効率性	総合評価 A	
	予算・決算額(A)		108	99	10,623			
	(A)の内訳	国道支出金	106	97	3,250			
		地方債						
		その他						
		一般財源	2	2	7,373			
	人件費(B)		720	720	5,762			
事業費計(A+B)		828	819	16,385				
事業の目的		農業経営の安定化を図るため、販売価格が生産費を恒常的に下回っている作物を対象に、その差額を補正する交付金及び農業収入の減少がその農業経営に及ぼす影響を緩和するための交付金を交付する制度である経営所得安定対策を推進するための活動主体となる苫小牧市地域農業再生協議会を支援します。						
事業の内容 SDGs17の目標 		<p>苫小牧市地域農業再生協議会が行う下記活動に対し助成しました。 ※地域農業再生協議会の活動内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 経営所得安定対策制度の普及推進活動 2 申請書類等の配布、回収、整理取りまとめ、受付 3 対象作物（産地交付金の助成作物を含む）の作付面積等の確認事務 4 農業者情報のシステム入力・集計事務 5 その他本対策の円滑な実施に必要な活動 						
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R5年度	R6年度
		苫小牧市地域農業再生協議会補助金			千円	90	96	99
項目評価		高 → 低 4 3 2 1				評価の理由		
有効性		●				経営所得安定対策を適正かつ円滑に実施したことにより、農業経営の安定と対象農産物の地域における生産力の確保につなげたため、「4」としました。		
効率性		●				苫小牧市地域農業再生協議会による申請書類等の取りまとめや作付面積等の確認事務等により、効率的に業務を進めたため、「4」としました。		
公平性		●				苫小牧市地域農業再生協議会による経営所得安定対策制度の普及推進活動によって対象となり得る農業者への周知を徹底したため、「4」としました。		
事業の課題 今後の方向性		経営所得安定対策が適正かつ円滑に実施されています。今後も適正かつ円滑に実施されることにより、農業経営の安定と対象農産物の地域における生産力の確保につなげていきたいと考えています。					事業終了の 予定の有無 有 (令和6年度)	
特記事項		令和7年度から農業振興対策事業として事業統合（事業名変更）のため、令和6年度で事業終了予定「有」としています。						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 06農水産業費

項 01農業費

目 02農業振興費

事務事業番号 06010203

事業名		就農者等支援事業		担当部署	産業経済部 農業水産振興課				
根拠法令									
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)		13,959	13,959			23,000		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>
	(A)の内訳	国道支出金	12,459	12,459			21,000		
		地方債							
		その他							
		一般財源	1,500	1,500			2,000		
	人件費(B)		1,801	1,801			1,801		
	事業費計(A+B)		15,760	15,760			24,801		
事業の目的		新規就農者等に対して、農業次世代人材投資資金の交付や市独自での農業設備等への初期投資助成を行い、資金面での負担を軽減することで経営安定を図り、就農後の定着につなげます。							
事業の内容 SDGs17の目標 		<ol style="list-style-type: none"> 北海道農業次世代人材投資事業（経営開始型資金） 市内において、次世代を担う農業者となることを志向する経営開始直後の新規就農者に対して、資金の交付を行いました。 新規就農者総合育成対策事業（経営発展支援） 市内において、次世代を担う農業者となることを志向し、就農後の経営発展のために必要な機械・施設の導入等をする農業者に対して、資金の交付を行いました。 新規就農者等支援事業 市内の新規就農者等の経営に必要な資機材等の購入に対し、助成を行いました。 農地利用効率化等支援補助金 経営改善に取り組む場合に必要農業用機械・施設の導入等を支援するため補助金を交付しました。 							
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R5年度	R6年度	
		北海道農業次世代人材投資資金事業対象者			人	1	2	4	
		新規就農者総合育成対策事業対象者			人	0	1	1	
		新規就農者等支援事業対象者			人	2	2	3	
項目評価		高 → 低				評価の理由			
		4	3	2	1				
		有効性	●				経営の不安定な就農初期段階の新規就農者に交付を行うことで経営の安定化に寄与することができたため、「4」としました。		
		効率性	●				農作物の収穫量や農業所得が不安定な就農初期に交付を行うことで、農作業に集中して取り組める環境づくりにつながっていると考えられるため、「4」としました。		
公平性		●			新規就農予定者や、新規就農相談者ごとに事業説明及び交付要件等の案内をしており、対象者へおむね事業を展開できていると考えられるため「3」としました。				
事業の課題 今後の方向性		新規就農者の負担軽減により、新たな担い手を確保し、地域農業の振興を図るため、今後も継続して実施していくことで、就農後の定着につなげていきたいと考えています。					事業終了の 予定の有無		
							無		
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 06農水産業費

項 01農業費

目 02農業振興費

事務事業番号 06010204

事業名		多面的機能支払交付金事業			担当部署	産業経済部 農業水産振興課			
根拠法令		農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価		総合評価		
	予算・決算額(A)	4,069	4,068	-			B		
	(A)の内訳	国道支出金	3,051	3,051					
		地方債							
		その他							
		一般財源	1,018	1,017					
	人件費(B)	2,161	2,161	-					
	事業費計(A+B)	6,230	6,229	-					
事業の目的		平成27年度から施行された「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」に基づき、農業・農村の多面的機能の発揮のための地域活動や営農の継続等に対する支援を行い、多面的機能が今後とも適切に発揮されるようにするとともに、担い手の育成等構造改革を後押ししていきます。							
事業の内容 SDGs17の目標		<p>植苗・美沢地区に「植苗・美沢地区資源保全会」、樽前地区に「タルマイ会」という活動組織を設立し、活動組織は目的を達成させるための計画を策定しました。市は、その計画を認定し、農用地面積に応じ補助金を交付、その補助金で活動組織は、農地維持活動（対象地区内での草刈り等）及び資源向上活動（対象地区内での花壇作り等）を実施しました。</p>							
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R5年度	R6年度	
項目評価		高 → 低				評価の理由			
		4	3	2	1				
有効性			●			活動組織による農地維持活動及び資源向上活動を支援することで事業の目的におおむねつながっていると考えられるので、「3」としました。			
効率性			●			地区毎に、農業者だけでなく地域住民と取組について共有し、協力してもらうことで効率的に活動をおおむね実施できたため、「3」としました。			
公平性		●				地区毎に国の補助基準に沿って、農用地面積に応じ補助金を交付していることから、「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性		農村地域の多面的機能の維持・発揮のため、今後も関係機関や活動団体と連携し、事業を継続してまいります。					事業終了の 予定の有無		
							有 (令和6年度)		
特記事項		令和7年度から農業振興対策事業として事業統合（事業名変更）のため、令和6年度で事業終了予定「有」としています。							

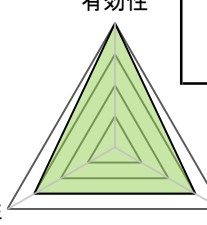

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 06農水産業費

項 01農業費

目 02農業振興費

事務事業番号 06010205

事業名		地域資源活性化推進事業		担当部署	産業経済部 農業水産振興課				
根拠法令									
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)		900	815			-		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">B</div>
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他							
		一般財源	900	815					
	人件費(B)		1,080	1,080			-		
事業費計(A+B)		1,980	1,895	-					
事業の目的		生産者及び生産者を含む団体による地域資源を活用した取組を総合的に推進することにより、農畜水産業の振興を図ります。							
事業の内容 SDGs17の目標		 <p>1 交流展示会補助金 地域資源等を活用した商品や商材を活用し、生産者と事業者の交流や新たな商談などの機会創出、情報・知識の共有を図り、地域の食関連産業・飲食業の活性化と地産地消の促進を目的に開催する事業に対し、補助金を交付します。</p> <p>2 地元農畜水産物消費拡大事業補助金 地元農畜水産物や、それらを活用した加工品の消費拡大を図ることを目的としたイベント等に出席する団体等に対し、補助金を交付します。</p>							
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R5年度	R6年度	
		交流展示会参加者数			人	-	-	100	
		参加店舗数			店舗	-	-	19	
		消費拡大事業補助件数			件	0	0	1	
項目評価		高 → 低				評価の理由			
		4	3	2	1				
		有効性	●				交流会展示会の実施により生産者と食品関連事業者の新たな商談機会の創出を行ったことから、「4」としました。		
		効率性		●			生産者を含む複数の事業者を参集することで、おおむね効率的に新たな商談機会の創出が図られたことから「3」としました。		
公平性		●			農水産業等の幅広い業種の出店がおおむねできたため、「3」としました。				
事業の課題 今後の方向性		地元食材の魅力発信を通じて農畜水産業の振興に貢献するため、より幅広く地域資源の振興につながるような事業となるよう今後も継続してまいります。					事業終了の 予定の有無		
							有 (令和6年度)		
特記事項		令和7年度から苫小牧産農水産物プロモーション事業に事業統合したため、令和6年度で事業終了予定「有」としています。							


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 06農水産業費

項 01農業費

目 02農業振興費

事務事業番号 06010206

事業名		施設園芸生産基盤緊急支援事業【繰越明許】			担当部署	産業経済部 農業水産振興課			
根拠法令									
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価		総合評価		
	予算・決算額(A)	1,951	1,119	-		A			
	(A)の内訳	国道支出金	1,951	1,119					
		地方債							
		その他							
		一般財源							
	人件費(B)	1,440	1,440	-					
事業費計(A+B)	3,391	2,559	-						
事業の目的	燃料費高騰の長期化を踏まえ、燃料費負担が大きい施設園芸農家のエネルギー転換に向けた取組を支援することに加え、資材価格が高騰する中、今夏の高温障害による収量減のリスクへの対応など、施設園芸の生産基盤の確立を図るため。								
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p>   <p>燃料費・資材価格の高騰及び夏期の高温障害により収入源のリスクに対応するため、エネルギー転換促進の取組や暑熱対応の取組に対して施設園芸農家を緊急的に支援する。</p> <ol style="list-style-type: none"> エネルギー転換促進の取組 <ol style="list-style-type: none"> 無加温パイプハウスの整備及び資材等の導入 省エネ機器及び省エネ効果のある内部設備・資材等の導入 パイプハウスの被覆資材及び補強資材の導入 暑熱対応の取組 <ol style="list-style-type: none"> 暑熱対応機器及び暑熱軽減効果のある内部設備・資材等の導入 パイプハウスへの暑熱軽減効果のある被覆資材等の導入 <p>上記取組に資する事業費に対し、補助率1/2以内で支援する</p>								
実施結果 (活動指標)	指標名				単位	R4年度	R5年度	R6年度	
	事業費交付対象者				人	-	-	2	
項目評価	高 → 低				評価の理由				
	4	3	2	1					
	有効性	●			エネルギー転換及び高温障害による収量減のリスクに対する支援をすることで、燃料費高騰等による、農業経営負担の影響緩和につなげたため、「4」としました。				
	効率性	●			関係機関と連携することで、対象者からの申請及び支援金交付を迅速に対応できたため、「4」としました。				
公平性	●			対象期間にエネルギー転換促進及び暑熱対応の取組を行う農業者を支援対象としていることから、「4」としました。					
事業の課題 今後の方向性	北海道の令和5年度補正予算を活用した事業であることから単年度事業ではあったが、農業者が大きく影響を受けている燃料費高騰及び高温障害に対する支援措置を行ったため、効果は十分あったと考えられます。						事業終了の 予定の有無		
							有 (令和6年度)		
特記事項									

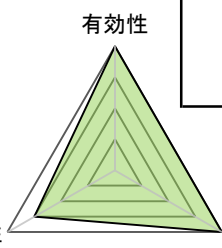
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 06農水産業費

項 01農業費

目 03畜産業費

事務事業番号 06010301

事業名		農業・畜産・酪農収益力強化対策事業		担当部署	産業経済部 農業水産振興課				
根拠法令									
予算・決算 (千円)	区分		R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価		
	予算・決算額(A)		3,101	3,098	-				<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他							
		一般財源	3,101	3,098					
	人件費(B)		720	720	-				
事業費計(A+B)		3,821	3,818	-					
事業の目的		農林水産省では、「農畜産業の競争力強化」に向け、農家をはじめとした、地域に存在する組織、自治体及び関連産業等の関係者が有機的に連携・結集し（畜産クラスター）、地域ぐるみで収益性を向上させる事業をはじめ、競争力の向上、自給飼料生産拡大などの事業を実施します。							
事業の内容 SDGs17の目標		<p>平成27年度農林水産省の畜産・酪農の競争力強化対策事業を実施することになった、JAとまこまい広域の事業であり、個々の事業に支援するのではなく、関連事業を一元化させた事業（土づくり）⇒自給飼料用種子購入⇒自給飼料の生産（収穫等）⇒良質な自給飼料で育った子牛の保留）をJAとまこまい広域畜産部が実施、その事業に対し苫小牧市が支援することで、連携して収益力の強化になるよう目指しました。</p> <p>2 資源をゼロに</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 土壌診断助成事業 土壌分析に基づく施肥や地域に適合した牧草・農畜産物等、優良品種導入等の取組 2 草地更新種子助成事業 国産粗飼料の生産拡大を図るため、飼料作物種子の活用、飼料生産の向上に向けた取組 3 粗飼料確保対策事業 酪農畜産業における配合飼料高騰等を鑑みた安定的な経営維持を目的とした、国産粗飼料の確保を支援する取組 4 優良繁殖用家畜導入・保留事業 農業経営の安定向上を計るための畜産・酪農振興措置として、畜産農家が繁殖用の優良な家畜を導入・保留した場合、酪農農家が優良な乳用牛を導入・保留した場合に補助する取組 5 黒毛和種繁殖牛群改良事業 ゲノミック（遺伝子情報）解析により、従来より早く得られる精度の高い母牛の産肉能力情報を用いることで、黒毛和種繁殖牛群の改良並びに有利販売につなげる取組 							
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度		
		乳量		t	3,358	3,165	3,134		
		肉用牛の飼養頭数		頭	501	544	505		
項目評価		高 → 低		評価の理由					
		4	3	2	1				
有効性		●				各事業の費用の一部を市及びJAとまこまい広域が負担することで、農家の負担が軽減したため、「4」としました。			
効率性		●				より優良な家畜を導入できる取組や補助を行うことで、農家の農業経営の安定向上につながったため、「4」としました。			
公平性			●			JAとまこまい広域との共同事業であり、市内畜産酪農農家の多くがJA組合員となっており、おむね利益を享受できたため、「3」としました。			
事業の課題 今後の方向性		地域ぐるみで収益性を向上させる事業をはじめ、競争力の向上、自給飼料生産拡大に有効であると考えられるため、今後も必要な事業を検討し継続してまいります。					事業終了の 予定の有無		
							有 (令和6年度)		
特記事項		令和7年度から農業振興対策事業として事業統合（事業名変更）のため、令和6年度で事業終了予定「有」としています。							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 06農水産業費

項 01農業費

目 03畜産業費

事務事業番号 06010302

事業名		畜産担い手育成総合整備事業		担当部署	産業経済部 農業水産振興課				
根拠法令									
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)		2,439	1,468			-		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他	1,321	1,194					
		一般財源	1,118	274					
	人件費(B)		2,161	2,161			-		
事業費計(A+B)		4,600	3,629	-					
事業の目的		<p>草地の基盤整備を行うことで、良質な粗飼料確保及び低コストで生産性の高い経営体の育成を促進し、良質乳の安定生産や肉牛生産の増加による経営安定など、担い手農家の育成と地域酪農畜産経営の安定的な発展につなげます。</p>							
事業の内容 SDGs17の目標		<div style="display: flex; align-items: center;"> <p>本事業は実施運営主体である（公財）北海道農業公社が東胆振中東部地域を対象に草地畜産基盤整備事業実施計画を作成し、それに基づき地域における草地、及びその他畜産基盤を総合的に整備するものです。 本事業の一環として実施している市内農家及び苫小牧市有樽前放牧場の草地改良に対し、負担金を支出しました。</p> </div>							
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R5年度	R6年度	
		草地改良面積			m ²	227,700	164,100	142,200	
項目評価		高 → 低				評価の理由			
		4	3	2	1				
		有効性	●				牧草の生産性が草地改良を行うことで向上するため、「4」としました。		
		効率性		●			国や道の補助を活用し、おおむね効率的に事業を実施していることから「3」としました。		
公平性	●				対象者である市内畜産酪農農家へ周知を行っていることから「4」としました。				
事業の課題 今後の方向性		<p>市有放牧場の生産性を草地改良により向上させることで、利用される市内及び管内の農家の経営効率化の一役を担っている事業だが、費用対効果の課題も整理しながら事業終了まで継続してまいります。</p>					事業終了の 予定の有無 <div style="text-align: center;">有 (令和6年度)</div>		
特記事項		<p>令和7年度から農業振興対策事業として事業統合（事業名変更）のため、令和6年度で事業終了予定「有」としています。</p>							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 06農水産業費

項 02水産業費

目 01水産振興費

事務事業番号 06020101

事業名		苫小牧産農水産物プロモーション事業		担当部署	産業経済部 農業水産振興課				
根拠法令									
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)		2,432	2,283			3,513		<div style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">A</div>
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他							
		一般財源	2,432	2,283			3,513		
	人件費(B)		2,881	2,881			3,961		
事業費計(A+B)		5,313	5,164	7,474					
事業の目的		漁獲量日本一を誇るホッキ貝を筆頭に苫小牧市では様々な水産物が水揚げされており、観光客の誘致や水産振興等が図られています。そのため、更なる周知と消費拡大を目的とした事業に対する補助を行っています。あわせて、水産物だけではなく農産物にも興味を示してもらうため、農水産業者と都市住民の交流を図ります。							
事業の内容		SDGs17の目標 <ol style="list-style-type: none"> ホッキまつり補助金 第11回苫小牧漁港ホッキまつりに対し、運営費の補助を行いました。 苫小牧産水産物パワーアップ補助金 苫小牧産水産物のPRのため、ポスター、チラシ、シール等費用の一部を補助しました。 グリーンツーリズム展開事業 樽前の農業者が実施した都市住民との交流イベントに対し補助を行いました。 苫小牧産ホッキ貝等安定供給事業 苫小牧産のホッキ貝をはじめとする貝類において実施される貝毒検査に要する費用の一部を補助しました。 							
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R5年度	R6年度	
		苫小牧漁港ホッキまつり補助金			千円	中止	600	900	
		苫小牧産水産物パワーアップ事業補助金			千円	400	400	400	
		苫小牧産ホッキ貝等安定供給事業			千円	—	—	936	
項目評価		高 → 低				評価の理由			
		4	3	2	1				
		有効性		●			各種補助事業の実施により苫小牧産水産物の魅力発信におおむねつながったことから「3」としました。		
		効率性	●				関係団体への支援で、市内、市外へPRできるイベントが開催できていることは効率的であることから「4」としました。		
公平性	●				関係団体の支援を実施することで、多くの市民へ農水産物の消費拡大を図れていることから「4」としました。				
事業の課題 今後の方向性		おおむね目的に沿った事業展開ができていますが、さらに道内、道外へ苫小牧産農水産物の普及や消費拡大につなげる必要があると考えており、今後も事業を継続してまいります。					事業終了の 予定の有無		
							無		
特記事項									